環境委員会「幹事会」議事録

1. 日 時 2023年11月24日(金) 16時30分～17時30分
2. 場 所 富山県経営者協会 研修室
3. 出席者 小田委員長・谷内副委員長はじめ幹事5名 (事務局)北野、安田
4. 内 容

1. 小田委員長挨拶

来週には12月の師走に入り慌ただしくなってくる。環境委員会は皆様の環境保全が大きな目的である。皆様と情報交換をしっかりと活動に活かしながら進めていきたいと思っている。本日の幹事会は来年度の事業活動を審議する大切な場となっており、幹事の皆様のご意見ご要望を反映しながら実り多い活動にしていきたい。

2. 【報告事項】2023年度事業活動報告(資料1、1-1、1-2事務局説明)

- ・幹事会は4/26(当年度活動審議)、本日11/24(次年度活動審議)と2回開催。
- ・定例委員会は7/12に「富山県生活環境文化部との情報交換」(機電共催)と併催して実施。会員へオンライン配信も行い合計71名の参加で好評を得た。9/25は勉強会テーマ「GXを地域のビジネスチャンスや経営に活かす」と併催して実施(合計32名参加)。今後の予定は12/5に富山県との共催で「森林」クレジットセミナーの併催を計画。
- ・県内企業見学会は6/22に「ヘルジアン・ウッド」を見学(15名参加)。10/24に4年振りに県外企業見学会を「北陸電力(株)志賀原子力発電所」で日帰り開催(23名参加)。
- ・機電との共催事業として12月に計画した「講演会・事例発表会」を、10/26のT-Messe2023で事業変更し開催。ものづくりGXセミナーとして石崎副委員長が講演し、115名に参加頂いた。
- ・講座・セミナーは今年度より「ISO14001内部監査員養成講座」を5月と9月の2回開催し、のべ32社66名に参加頂いた。今後の予定は2月に中小企業向け「カーボンニュートラル推進セミナー」の開催を計画。
- ・環境委保全活動はオイスカ富山県支部「緑の里山保全森づくり活動」に相乗り参加(のべ29名)。

指示事項

- ・2月の中小企業向け「カーボンニュートラル推進セミナー」は大企業にも参考になると考えられるため、幅広い募集となるよう案内を工夫すること。(手引き中心の説明)

3. 【審議事項】2024年度事業活動計画(案)(資料2、2-1～2-5事務局説明)

2023年度の活動を継続した形で事務局(案)を作成。開催時期や事業内容についてご審議頂きたい。

[幹事会] 4月当年度活動審議、11月次年度活動審議と2回計画。

[定例委員会] 7月・9月・12月の3回を計画

- ・7月「富山県生活環境文化部との情報交換」の併催を計画(機電工業会との共催を継続)。
- ・9月「環境・エネルギー問題に関する講演会(勉強会)」の併催を計画。腹案として委員同士の情報交換としてGDを行うなど進め方についても審議頂きたい。
- ・12月「講演会・事例発表会」の併催を計画(機電工業会との共催を継続)。

[県内・県外企業見学会] 6月・10～11月の2回計画。

- ・6月は県内、10月～11月の間で県外として計画。県外については展示会や見本市の開催と合わせた場合も含めた計画案とした。

[講座・セミナー]

- ・5月と9月「ISO140001 内部監査員養成講座」の2回で継続開催を計画。
- ・2月「中小企業向けセミナー」として計画。

[環境保全活動]

- ・オイスカ富山県支部「緑の里山保全森づくり活動」の相乗り案で計画。その他、外部からの参加が可能な活動があればご意見を頂きたい。

[その他]

- ・2月に委員会活動に関するアンケートを実施し、活動の中身について委員から要望を伺い、4月幹事会での活動審議に役立てたい。

決定事項

- ・活動の詳細については2月のアンケートで委員からの意見を伺い、4月の幹事会で審議する。
9月定例委員会での事業については「委員相互の情報交換」を行うこととし、アンケートで情報交換したい内容の希望を伺いながら、幹事会で進め方を決める。
県外企業見学会については、展示会や見本市の情報についてアンケートで伺う。
- ・2024年度事業活動計画(案)については上記修正で12月の定例委員会で諮ることで承認を得た。

以 上